

議員協議会（12月1日）

主な質疑内容

案件：当別町道の駅 基本計画について

Q 農振、農地転用の手続きが遅れる可能性はないのか。

A 事前に石狩振興局との協議を進めているので、遅れることはないと考えている。

Q 地質調査の結果で、地盤改良や盛土が必要となったときは遅れるのか。

A 地質調査の結果を見ながらとなるが、地盤改良などが必要なときはスケジュールに多少のずれが生じることが予想される。

Q 事業費が出ずに12月定例会を迎えることとなり、3月定例会でも事業の目途が出ないかもしれない。早めに事業費等の予算などを出すことはできないのか。

A 基本設計の中で南北を決めることになっている。用地買収をする際、施設の形状を確定させないと交渉ができないので、それらを27年度に実施することになる。

Q 営業収支の想定について、固定資産や借入金の金利などは入ってい

るのか。

A 想定では、町が施設を建設をし、管理を指定管理者にした場合、固定資産は発生しない。借入金は、仕入れる数や月の経費などの想定ができていないため、試算されていない。

Q 施設の規模は想定どおりで進むのか。豪雪や水害の避難場所として、考えているのか。

A 規模は最終確定ではない。入る店舗の中身で規模等は変わる。吹雪の退避場として担うことが想定される。設置予定の場所は低い位置にあり水害の避難場所としては使用できない。

Q 来年の3月までに基本計画について、このように進んでいることと、具体的にこのような案で検討していることを町民にも知ってもらいたいと思っている。町の支出を少なく、将来負担をかけないように作ることを町民に説明してほしい。

A 適切な時期に町民に説明を行いたいと考えている。財源では、エー

ファイブ。または株式会社にしたときのファンド出資も考えられる。補助事業は事業実施主体によって、使えるもの使えないものがある。

Q 今の時点の規模でどのくらいかかるのかはロックしなくても出しているのでは。町民の理解を高める中で柔軟に対応できるような進め方をしてほしい。

A 施設規模の想定のもとに試算をしている。早い時期に想定ができるものについては、規模、面積などは進めていかないと話が前に進まない。

Q 出店を募集する中で、もし後からコンビニが入れば、テイクアウトにも影響が出るので、事前に情報提供が必要ではないか。

A 施設の規模やチャレンジショップを何店舗にするなど具体的に決まれば、適切な時期に応募と説明は行う。

総務文教常任委員会

主な質疑内容

平成26年第5回定例会関係(平成26年12月9日)

企画部関係

Q アイスヒルズホテルのスノーモービルの乗車体験などは、事前にゴルフ場と打ち合わせをしているのか。

A 昨年度は、設営が始まってからの折衝を行ったため、時間的な問題があったが、今年度は、早い段階から打ち合わせをして、ゴルフ場の中をスノーモービルのコースとして使用、受付もクラブハウスロビーを活用することとなっている。

Q 政策評価の重点施策となっているエネルギー関係もC判定の評価になっているが、先送りということか。

A 事務事業評価のC判定については、すべて、必要性については認めているが、27年度についての実施は、全体的な予算を勘案して、実施見送りとしている。

Q ふるさと納税の特産品が3品目追加したが、応募がなく、品目から外れていくものはあるのか。

A 応募が少ない商品について、工夫し魅力あるものにするように事業者と継続して協議していく考えである。

教育委員会関係

Q 社会教育施設に指定管理者制度を導入するメリットは何か。

A 今までより、住民サービスの向上が図られるため。

産業厚生常任委員会

主な質疑内容

平成26年第5回定例会関係（平成26年12月10日）

経済部関係

Q 米の規格外が多いとのことだが、品種に限らず、多いということか。

A 品種に限らず全般的に規格外となっている。

Q 米の出荷量のその他の部分の品種とはどんなものか。

A 酒米等が入っている。

Q 機構集積協力金交付事業とあるが、過去にもあった事業か。

A 平成26年度から始まった事業で、今回初めてである。

Q 道の駅の関係で、基本設計業務委託が年度末まで行われるが、中身は。基本計画ができたことを住民にどう周知していくのか。

A 基本設計業務の内容について、図面の作成、今後の概略の行程の作成、概算工事費の算出、全体のパス図の作成を予定している。町民への周知は、町のHPに基本計画を載せ、役場3Fのプロジェクト推進室でも冊子を配布している。年明けに基本計画の概要を町の広報誌に掲載する準備をしている。

Q 基本計画の中で、ゾーンの配置が何通りかあるが、決定したということか。

A 現在、土地を東西に配置するパターンと南北に配置するパターンがあり、今後基本設計の中で、作り上げていく考えである。

Q 3月までに業務委託を終え、すぐ実施設計に入るとのことだが、すでに発注しているものはあるのか。また、3月まで3ヶ月だが、議会や住民へ十分な議論はできるのか。

A 現在プロポーザルの手法を用いて、基本設計の契約の相手方を選定する準備をしている。1月に契約をして、業務を発注する。意見等の反映については、今後精力的に作業を進めていく。

建設水道部関係

Q 新たな樺戸の雪堆積場は、下川堆積場と比較するとどれくらい大きいか。全体で総量はどれくらい増えるのか。

A 樺戸雪堆積場は約55,000m³の雪量を堆積できる。下川は約124,545m³堆積できる。

Q 樺戸の雪堆積場の交通安全の問題は検討しているのか。

A 誘導員等の安全管理の作業員を配置し、事故のないよう進めたい。

Q 樺戸の雪堆積場の近くの住民との話し合いは実施したのか。

A 事前に、堀江病院、町内会長、敷地に隣接している方に、話し合い等を実施した。

Q 議会終了後の15日から供用開始だが、すぐ周知はできるのか。

A 15日から準備し、準備終了後開設する。周知については、速やかに周知していく。

Q 一斉に雪を捨てるとすぐ一杯になるので、地区割りする等の考えはないのか。

A 他にも雪堆積場を設置できれば、分けもできるが、今回は4トン車までの小型はできるだけ樺戸にし、大型車については、下川ということにして進める。

Q 樺戸雪堆積場は、川まで十分な幅があるのか。

A 北海道の基準により管理し、川から5～10mを空ける。

Q 機械センター修繕費の中身は。

A ローター車、グレーダー等々の除雪機械が除雪作業開始前に修理等が生じたため。

福祉部関係

Q 保育の人数はどれだけ増えたか。当別町全体では何名か。各保育所の定員は何名か。

A 夢の国の保育園の児童数は、11月初旬で昨年度は77名、今年度は101名。現在町内の保育所の人数は、11月現在、夢の国保育園101名、西保育所11名、太美保育所は97名。定員は、夢の国は70名、西保育所は50名、太美保育所は75名。

Q 子ども発達支援センター解体工事減額の理由は。完成はいつか。

A 用地購入1000万円に対し、執行額は425万円。解体工事は、2000万円に対し、執行額は1047万円。当初予算作成段階では、北海道との用地価格の協議中だったため、明確になっておらず、協議中の金額を計上した。解体工事は、節減の観点から、工事内容の見直し等を行い、執行した。完成は1月23日を予定している。

Q 工事内容の見直した部分はどこか。

A 当初は敷地全体囲う安全対策だったが、最小限にしたこと、工事車両の搬入口を2カ所から1ヶ所にし、安全対策員の人数を減らすなどの節減を行った。